

電波時計 取扱説明書

(デジタル電子音目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 **リズム株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

(Y2012)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**

受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせに際しては、製品番号(型番)をお伝えください。 例:8RZ000

(フリーダイヤル)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ①は、禁止(してはいけないこと)を示しています。
②は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ **警告** 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

❗ **誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない**
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

❗ **電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る**

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

❗ **梱包用のポリ袋をかぶらない**
窒息する恐れがあります。

❗ **電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない**

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠ **注意** 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

❗ **電池の⊕⊖を正しく入れる**
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

❗ **強い振動や衝撃を与えない**
故障や破損の原因になります。

❗ **浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない**
さびや故障の原因になります。

❗ **ぬれた手でさわらない**
さびや故障の原因になります。

❗ **分解や改造をしない**
けがや故障の原因になります。

❗ **液晶から漏れた液に素手でさわらない**
液晶が破損して漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。

❗ **下記のような場所では使わない**
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。 ●ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生する所。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

- 指定のアルカリ乾電池をご使用ください。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

■電池の寿命について

- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

取扱説明書にそった正常な使用状態で、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計をお買い上げ販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。

※品名・型番

※保証期間

お買い上げ 年 月 日より1年間

お客様ご氏名 様

ご住所

TEL() -

※販売店印(住所、店舗名、電話番号)

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

※印は販売店記入

- 保証書は再発行いたしません。
- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

保証について ※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケースなどの小キズ)。
8. 電池の交換。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 地下、ビルの中、ビルの谷間
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

温度表示について

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

測定範囲を超えた場合の表示

温度: [HH.H] 50℃を超える高温 [LLL] -9.9℃未満の低温

④本製品は室内用ですので、室内の温度計測以外の目的では使用できません。また厳密な温度管理を行う用途には適していません。

※アラーム2のスイッチをONにしたときは、温度表示部にアラーム2の設定時刻が表示されます。

お手入れについて

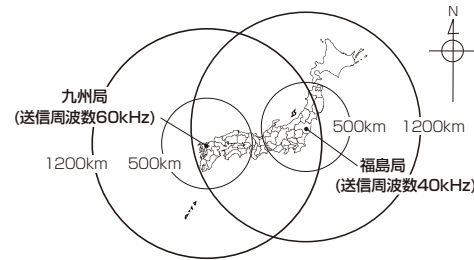
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

時計、電池の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

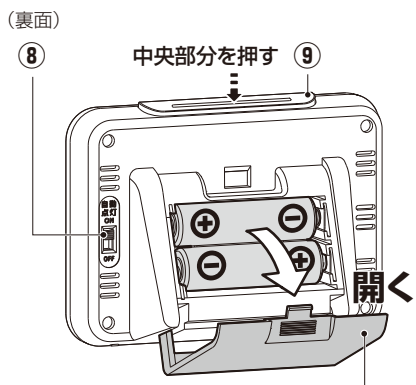
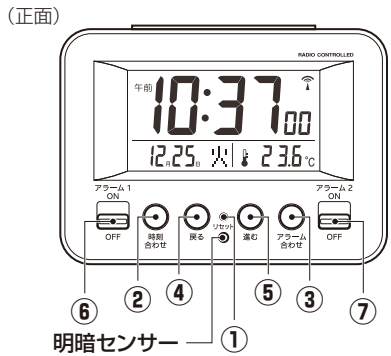
電池は付属しておりません。単3形アルカリ乾電池を2個ご用意ください。

手動での時刻合わせ ……電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。

液晶表示は、見る方向により、薄くなったりむらに見えることがあります。照明時は上方より見てください。



単3形アルカリ乾電池（推奨）2個
電池を入れるときは、電池ふたを開閉してください。

注意

電池の⊕ ⊖を指示と逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の危険があります。

- ①リセット ———— 誤作動を防ぐために電池を入れた後に押す。押すと2010年1月1日午前12:00、アラーム時刻1,2とも午前6:00になります。
- ②時刻合わせ ———— 手動で日時を合わせるときに使用。
- ③アラーム合わせ ———— アラームを合わせるときに使用。
- ④戻る ———— アラーム時刻や手動で日時を合わせるときに使用。
- ⑤進む ————
- ⑥アラーム1
- ⑦アラーム2 ———— ON/OFFスイッチ — アラーム1,2のON/OFF設定。
- ⑧自動点灯 ON/OFFスイッチ — 暗所自動点灯機能のON/OFF設定。
- ⑨スヌーズ ———— アラーム音の一時停止とライトボタン。

電池の交換について

早めに交換して液漏れを防ぎましょう

注意

電池の液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池の液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをご守りください。

- 液晶表示が薄くなったり、表示の一部が欠けたときは、速やかに電池を交換するか、電池を取り出す。
- 動いていても2年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計を使わなくなったときは電池を取り出す。

1 電波を受信して時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには**手動での時刻合わせ**をお読みください。

【受信の流れと表示】

〈リセットを押した直後〉



受信マーク
(受信中点滅)
〈受信開始〉



電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

①電池ホルダーの⊕ ⊖表示に合わせて単3形アルカリ乾電池を入れる

②リセットボタンを押す
「ピピピピ」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します。

③受信開始から10分後に受信結果を確認する
受信には最長10分程度時間がかかります。受信マークで受信結果を確認してください。

☞【受信の流れと表示】参照

◎受信中はボタンやスイッチにふれないでください。

※電源投入直後およびリセットを押した直後は、2010年1月1日、午前12:00、アラーム時刻1,2とも午前6:00に設定されます。

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、受信できなかったり、誤った日時を表示することがあります。場所を変えてリセットを押して再度受信を試みてください。

〈受信終了〉
最長10分後

受信に成功すると
受信マークが点灯



(受信に成功したときの表示例)

受信マーク消灯
失敗!



(受信に失敗したときの表示例)

- ※受信に成功しても、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。
- ※受信に失敗したときに表示されている日時は正しくありません。
- ※電波の受信中に**進む**、**戻る**を同時に約2秒間押し続けると、受信マークが消灯し受信を中止します。

強制受信とリセット操作

強制受信

場所を移動したときなどに、受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても日時は継続して表示します。

操作 **進む**と**戻る**の2つのボタンを同時に約2秒間押し続けると、受信マークが点滅して受信を開始します。アラーム時刻または日時の設定状態のときは強制受信を行いません。

リセット

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。

リセット直後は、2010年1月1日午前12:00、アラーム時刻は1,2とも午前6:00に設定されます。また、電波の受信を開始します。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくことと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、**リセット**を押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で日時を合わせて使用してください。

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻(時/分)の順に設定してください。

年、月、日、時刻(時/分)でのボタン操作

点滅している数値を**進む**または**戻る**で合わせてから**時刻合わせ**を押します。

ボタン	押してすぐ離す	押し続ける
進む	1つ進む	早送り
戻る	1つ戻る	早戻し

- 手動で時刻合わせをしても自動受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。
- 約15秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- アラーム時刻が点滅しているときは、日時の設定はできません。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。
- 電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。

操作例. 2018年12月25日 午前10:37に合わせる



①西暦年が点滅するまで時刻合わせボタンを約2秒間押し続ける。



②西暦年を合わせる
③月を合わせる
④日を合わせる



⑤時を合わせる
⑥分を合わせる
※分のときに進むまたは戻るを押すと秒が00になります。



③月④日
以上で設定は終わりです。

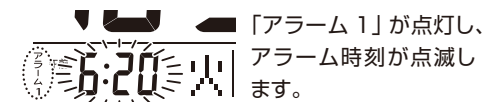
2 アラーム機能の使い方

■アラーム1と2、2つのアラーム時刻を設定して使用することができます。アラーム1と2の設定手順は同じです。(下記の設定説明はアラーム1の例です)

- アラームが鳴っているとき、またはスヌーズ中にスヌーズ以外のボタンを押すとアラームが停止され、スヌーズ状態も解除されます。
- アラームが鳴っているときに、もう一方のアラーム時刻になったときは、それぞれの時刻に対してスヌーズが機能します。

① アラーム時刻を合わせる

- ①アラームスイッチをOFFにする
- ②アラーム合わせボタンを押してすぐ離す



※アラーム2を設定するときは、アラーム合わせボタンを2回押してください。

- ③**進む**または**戻る**ボタンでアラーム時刻を合わせる

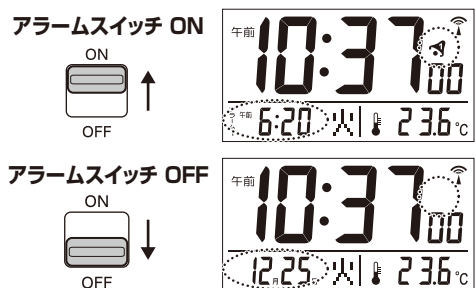
ボタン	押してすぐ離す	押し続ける
進む	1分進む	早送り
戻る	1分戻る	早戻し

※午前、午後の表示位置にご注意ください。

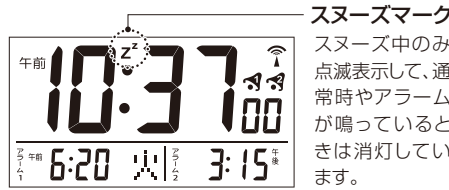
- ④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

② アラームのON/OFF設定

ONにするとアラームマークが点灯して、アラーム時刻が表示されます。



◆アラーム1,2ともONにしたときの表示例



※アラーム1は月日表示部、アラーム2は温度表示部にアラーム時刻が表示されます。※午前、午後の表示位置にご注意ください。

◎スヌーズ機能(止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、スヌーズマークとアラームマークが点滅してアラーム音が5分間停止してからまた鳴り出します。8回まで繰り返し使え、9回目にアラームが停止します。※スヌーズボタンはライトボタンを兼ねています。

◎オートストップ機能(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約3分で止まります。

■アラームご使用上の注意

アラームスイッチがONのときは、毎日アラームが鳴ります。アラームを使用しないときは、アラームスイッチをOFFにしてください。

表示部照明機能……暗所自動点灯

(本体裏面)



自動点灯スイッチをONにすると、明暗センサーと連動して暗くなると液晶表示面を照明します。

スヌーズボタンはライトボタンを兼ねていますので、押すと液晶表示面が約5秒間、自動点灯より明るく照明します。

- 照明をしたときは、時計上方より見てください。
- 明暗センサーは昼間や夜間照明時でも明るさが不足すると反応します。
- 照明は電池の交換時期に近づくに従って暗くなります。暗いときは電池を交換してください。

静電気の影響について

静電気の影響により正常に機能がなくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押してください。

おもな製品仕様

使用温度	-10~50°C *結露しないこと
液晶表示可読温度	0~40°C
時間精度	標準電波受信成功直後 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(温度が5~35°Cのとき)
推奨電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 2個
電池寿命	約2年 アラーム:30秒/日、 常時点灯:8時間/日、 一時点灯:5秒/日 使用したとき
標準電波	標準電波を受信して日付・時刻を修正
受信局	福島局/九州局
受信回数	4回/1日
受信ON/OFF	なし
電波サーチ	なし
標準電波受信開始時刻	2時から5時の各時間帯0分0秒に開始

付属品 取扱説明書・保証書 本書

アラーム機能	設定した時刻にアラームが鳴る
アラーム精度	表示時刻に対して±0秒
アラーム音	電子音
スヌーズ	アラーム音が約5分間の一時停止
オートストップ	アラーム音が連続3分で自動停止
カレンダー	2010~2099年対応
防滴防塵機能	なし
温度表示	-9.9~50°C
温度精度	±2°C
測定間隔	約1分

※液晶はその特性上、0°C以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなる場合があります。40°C以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。0~40°Cになれば、正常に戻ります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。
※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。